

AX/DX推進のための体制整備について

「国の行政機関の機構・定員管理に関する方針」（平成26年7月25日閣議決定、令和6年6月28日一部変更）

「デジタルの力をいかして、人手不足が深刻化する中、現在の国家公務員の定員を増やさずに行政サービスを持続できる環境を整備する」

令和8年度の定員措置の状況

- 上記の方針の下で、令和7年度以降、各府省庁における効果的なDXの実現に向けて、定員面から必要な後押しを実施
- 令和8年度定員審査においては、
 - ✓ **DX推進に関する定員を396人※増員**（令和7年度以降の2年間で782人の増員）



※主な内容

- ・各府省庁PMO体制の強化 : 45人
- ・行政におけるAI活用環境整備等 : 89人
- ・会計DXの推進 : 16人

- ✓ **政府全体で116人の定員合理化（=減員）を猶予し、DXの効果発現までの間、必要な定員を確保**（令和7年度は100人を猶予）

令和9年度定員要求に向けて

各府省におかれては、真に効果的なAX/DXを実現するための体制整備について、以下の点に留意の上、検討・準備をお願いしたい。

(1) PMOに係る体制整備

- 各府省のプロジェクト全体を管理し、各部局（PJMO）の取組を支援する官房（PMO）の役割は非常に重要。これまで措置したポストについて、**適切な実員を速やかに配置する必要**。
- AI実装には制度・業務・データの再設計が求められ、これらは構想段階で行われるべきもの。データマネジメントや業務プロセスの見直しがこれまで以上に求められる中、**司令塔たるPMOがプロジェクトの企画構想段階から積極的に関与することを期待**。

【実際の取組例】

- ・ PMO・PJMOが参加した会議体（制度・業務・データを検討する構想段階からPMOが関与する仕組みづくり）
- ・ システムの規模や更改時期、関連技術動向等を踏まえ、会議スケジュールを設定し省内で可視化
- ・ 重要プロジェクトに対する伴走支援（併任による人材派遣や外部支援事業者によるサポート）
- ・ PMOが機構定員要求担当と連携して全PJMOの体制や課題を把握するヒアリングを実施し、要求へ反映

(2) 令和9年度要求に向けて

- 要求時期（8月末）までの間に、**各府省において、PMOの積極的な関与の下、AX/DXに係る要求事項の内容と優先順位を精査し、真に業務効率化の効果の高いAX/DXの実現につながる要求を行っていただきたい**。

⇒ DX推進体制と取組状況についてしっかり検証しながら後押ししていく。

昨年度に引き続き、内閣人事局の担当者から各PMOに対して、各府省における検討プロセス、AX/DXに対する府省としての取組方針、個別プロジェクトに対するPMOの関わり方などの実情についてヒアリングさせていただくことを想定。